

# 南無御書

系年不詳

堂塔つくらず、布施ふせまいらせず、唯惜をしき物は命ばかりなり。これを法華經にまいらせんとをもう。三世の仏は皆凡夫にてをはせし時、命を法華經にまいらせて仏になり給ふ。此の故に一切の仏の始めは南無と申す。南無と申すは月氏の語、此の土にては帰命と申すなり。帰命と申すは天台釈して云はく「命を以て自ら帰す」等云云。命を法華經にまいらせて仏にはならせ給ふ。日蓮今度命を法華經にまいらせて